

## 生命医科学部 医工学科

### ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー

#### ■ディプロマポリシー

学力の三要素/領域：下記の資質・能力を備えた学生に学士（工学）の学位を授与します

##### 【知識・技能】

- ・人が豊かに暮らせる社会の実現のために解決すべき課題を、機械工学と医学を融合した知見から理解し、習得した知識と技術により解決できる。

##### 【思考力・判断力・表現力】

- ・人が豊かに暮らせる社会の実現のために解決すべき課題を積極的に発見し、機械工学と医学を融合した知識と技術を適切に運用することによって、解決する方法を見出すことができる。

##### 【主体性・多様性・協働性】

- ・人が豊かに暮らせる社会の実現に向け、グローバル社会に生きる人々の価値観や文化の多様性を尊重し、機械工学と医学を融合した知識と技術により、社会に貢献できる。

#### ■カリキュラムポリシー

##### 1) カリキュラム総説

ディプロマポリシーでの資質・能力を備えるために、下記のカリキュラムを設けます

##### 【編成・運営方針】

- ・工学と医学の融合領域である医工学の知識と技術を身につけ、人が豊かに暮らせる社会の実現に貢献できる人物を育成するために、必修科目および選択科目 A 群、B 群、C 群および自由科目によって構成されるカリキュラムを設置する。
- ・選択科目 A 群には I-1 類、I-2 類、II-1 類、II-2 類、B 群には I～III 類を設置する。
- ・選択科目 C 群は、教職に必要な免許関連科目を習得することを到達目標とする。
- ・選択科目 A～C 群から 74 単位以上を履修する。

##### 2) 学力の三要素/領域

##### 【知識・技能】

- ・必修科目は、高校で学習した知識をもとに、工学と医学の基礎的な知識・技能とその応用を身につける科目と、技術者として広く活躍できるように身につけるべき知識・態度を養う科目からなり、1 年次から 3 年次にかけて講義ならびに実験・実習科目 50 単位と 4 年次に卒業論文 4 単位を履修する。
- ・選択科目 A 群 I-1 類は、高大連携科目に続き、工学分野における基礎専門知識、基礎技能を習得することを到達目標とし、1 年次から 4 年次にかけて 12 単位以上履修する。
- ・選択科目 A 群 I-2 類は、医工学の各分野における専門知識、技能を習得することを到達目標とし、2 年次から 4 年次にかけて 14 単位以上履修する。
- ・選択科目 B 群は、1 年次以降 20 単位以上を選択履修する。そのうち、I 類から、英語の実践的な運用能力を習得することを到達目標とし、1 年次以降、少人数クラスの英語演習科目 8 単位以上を、II 類から、フランス語もしくはドイツ語の基礎的な運用能力を習得することを到達目標とし、1 年次以降、少人数クラスの初修フランス語もしくはドイツ語演習科目 4 単位以上を履修する。

### 【思考力・判断力・表現力】

- ・選択科目 A 群Ⅱ-1 類は、生命医学の分野における知識を習得し、人が豊かに暮らせる社会の実現のために解決すべき課題を積極的に発見することができるようになることを到達目標とし、1 年次から 4 年次にかけて 8 単位以上履修する。なお、ここには、海外での企業体験が可能な科目も選択可能である。
- ・選択科目 A 群Ⅱ-2 類は、医学・生命科学の各分野における知識を習得し、工学と医学を融合した知識と技術を適切に運用することによって解決する方法を見出すことができるようになることを到達目標とし、3 年次から 4 年次にかけて A 群Ⅱ-1 類と合わせて 16 単位以上履修する。

### 【主体性・多様性・協働性】

- ・必修科目における卒業論文では、これまでに獲得した知識と技術を基盤として、課題を主体的に解決する能力を身につけることを到達目標とし、卒業研究に取り組み、研究成果のプレゼンテーションを行う。
- ・選択科目 B 群Ⅲ類から、幅広いリベラルアーツや建学の精神などを習得することを到達目標とし、1 年次以降 8 単位以上を履修する。
- ・選択科目 C 群は、教職に必要な免許関連科目を習得することを到達目標とする。